

福島 活動報告

全学連福島現地行動隊
fzengakuren@yahoo.co.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

3・11に向けてラストスパート 郡山街宣で署名が300超え!

「原発いらない! 3・11福島県民大集会」が近づいてまいりました! 「私も参加する」「職場で取り組んでいるよ」などなどの声が目立っています。原発と政府・東電への怒りが吹き出しています。もうすでに集会成功の機運が感じられます。

全学連福島現地行動隊はラストスパートかけています。キャンパスや街頭で宣伝しまくっています。

街頭で宣伝していると、外国の記者に取材されることがよくあります。福島の様子だけでなく、若者の行動が世界から注目されているのがよくわかります。

3月8日は、朝から福島市役所とNTT前でチラシまき。昼から夕方までは福島大学と郡山駅前で部隊を分けて3・11宣伝と署名集め。福島県教組の分会回りもやりました。少しハードなスケジュールかのようにですが、人数も強化された行動隊は熱意で元気にやりきっています。

この日の郡山駅前での街頭宣伝では、3時間ほどで署名が300筆を超えて集まりました! 高校生や青年が署名していくのが目立ちました。一緒にチラシまき・署名集めを手伝ってくれる高校生も! 原発なくせると感じられる勢いが、現地・郡山にはあります。現地は政府・東電への怒りと原発廃絶への展望でとにかく熱い! ぜひこの熱を感じて欲しいと思います。3・11は郡山の大集会へ来てください。(ふ)



福島市役所前にて



NTTにもビラ入れしました



3月7日の福島駅前街宣。フランスからの記者に取材受けました

2万人結集で原発政策にトドメを!
3・11集会成功に向けてがんばろう

みやぎの国際婦人デー企画に参加しました

3月4日、国際婦人デー企画としての「すべての原発をなくそう！3・4宮城集会」が行われました。全学連福島現地行動隊も参加しました。被災地の福島と宮城の労働者、学生が集まり、原発再稼働阻止で福島と宮城が団結を深めました。

冒頭主催者あいさつで宮城の教育労働者の小原さんから「福島と宮城が一緒に闘っていくことが鍵」と発言。続いて、宮城から阿部美紀子さんからのメッセージが女川の映像と共に紹介されました。「女川原発をなくすことが復興です」という阿部さんの訴えは全国共通の思いです。

福島からは子ども福島の講演会と診療所建設委員会からの訴えが行われました。

陶山さん（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク）は福島で「野菜カフェ はもる」の店長をやっています。「野菜カフェ はもる」は安全な野菜採しに配慮している母親たちのためにつくられた県外産の野菜をとり扱うお店です。情報センターも併設しています。

陶山さんは「県内の状況を見れば避難することが一番。113万ベクレルもの汚染地域がある。このような地域のもとで生活を強制されています」と言い、こうした現実をお母さんたちに伝える努力をされています。陶山さんは「はもるに来ることで避難するかどうか迷っていたが避難することが決められたというお母さんもいます」と言います。国から正しい情報が与えられない中で、福島ではもるがお母さんたちの拠り所です。

さらに、「女川原発を止めるために福島も協力したい」と原発再稼働阻止へ子ども福島からも決意が語られました。

次に診療所建設基金の訴えを渡辺馨さんが行



いました。渡辺さんは「山下俊一を許さない診療所をつくる」「福島では広島と同じことが強制されている。広島の前爆投下後も内部被曝は無視され、100mSVの基準が強制された」「これをひっくり返すために労働運動と市民運動が手を取り合おう」と診療所建設の意義を語りました。

講演の直後にフリートークが行われ、多くの発言で盛り上がりました。

「沖縄で公害病の被害にあって化学物質ストレスの中で生活を余儀なくされた。そして、家族がばらばらにされた。今の福島も同じ。原発はなくさなければいけない」と訴える学生。

さらに給食の規制値を調べることもしない行政に対して、食品調査をするよう県内の30以上の団体に訴えて回った宮城のお母さんの取り組み。

「原発事故後は様々な健康被害に遭った。原子カムラは後遺障害が出ることを分かって原発を推進している。国から私たちは殺された。私たちの平和は自分たちでつくっていかねばならない」と熱烈に訴える福島の母親の訴えなど発言は止むことがありませんでした。「小中学生も動いている。学生も行政行動などしてほしい。論では負けないのだから」と、陶山さんから学生に向けた檄もいただきました。

政府、東電への怒りが行動につながるうとしています。3・11は郡山へ。（か）



3月3日、動労水戸の平支部事務所開きを記念しての反原発講演会に参加してきました。

講師は、NAZEN呼びかけ人にもあり、診療所建設委員会の呼びかけ人でもでもある吉本哲郎先生です。